

漁業・水産業と食のビジネスサポーター

 ニチモウ株式会社

2023年3月期
第2四半期決算短信
補足説明資料

2022年11月11日



8091

東証プライム市場

ニチモウ株式会社

2023年3月期第2四半期決算

2022年3月期 2Q決算：上期は堅調に推移し増収営業増益

4

売上高：611億円
(前年同期比+16.1%)

食品事業と海洋事業が牽引し、二けた増収

営業利益：14.7億円
(同+7.8%)

円安や原材料価格高騰の影響を一部販売に転嫁し増益を確保

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q	構成比 (%)	2022年3月期 2Q	構成比 (%)	前年比 (%)	2023年3月期予想 (2022年5月発表)
売上高	52,620	100.0	61,110	100.0	+16.1	120,000
売上総利益	5,292	10.1	5,626	9.2	+6.3	—
販売費及び 一般管理費	3,926	7.5	4,154	6.8	+5.8	—
営業利益	1,365	2.6	1,471	2.4	+7.8	2,600
経常利益	1,600	3.0	1,619	2.7	+1.2	3,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,184	2.3	1,103	1.8	△6.8	2,200

事業別増減(前年同期比)

主要事業（食品・海洋・機械・資材）は全て増収、食品は在庫の評価損計上により減益

(単位：百万円)		2022年 3月期 2 Q	構成比 (%)	2023年 3月期 2 Q	構成比 (%)	増減
全体	売上高	52,620	100	61,110	100	+16.1%
	営業利益	1,365	—	1,471	—	+7.8%
食品	売上高	33,078	62.9	39,923	65.3	+6,844
	営業利益	1,169	59.6	1,091	51.8	△78
海洋	売上高	8,791	16.7	9,891	16.2	+1,100
	営業利益	207	10.6	347	16.5	+139
機械	売上高	5,073	9.6	5,428	8.9	+355
	営業利益	299	15.2	414	19.7	+115
資材	売上高	4,240	8.1	4,412	7.2	+171
	営業利益	224	11.5	241	11.4	+16
バイオテックス	売上高	174	0.3	155	0.3	△18
	営業利益	24	1.3	4	0.2	△20
物流	売上高	1,213	2.3	1,245	2.0	+31
	営業利益	1	0.1	△34	-	△36
その他*	売上高	48	0.1	54	0.1	+5
全社費用		△596	—	△635	—	△38

* その他売上高は、不動産賃貸業など。営業利益構成比は、全社費用控除前。

主力事業の状況① 食品事業・海洋事業

食品事業： 増収減益 需要拡大と価格転嫁で取引は拡大したが在庫評価損を計上

(単位：百万円)	2022年3月期 2Q	利益率 (%)	2023年3月期 2Q	利益率 (%)	増減
売上高	33,078	-	39,923	-	+ 6,844
営業利益	1,169	3.5	1,091	2.7	△78

- < 鮮凍水産物 > (42.0%) カニは通販向け好調, 一方米国のロシアに対する禁輸措置による相場下落・物流費の上昇などで増収減益。北方凍魚は、円安への迅速な対応に努め、マダラ・ホッケの販売を中心に順調に推移し増収増益。助子は、原料の販売が堅調に推移し増収増益
- < 加工食品 > (31.1%) 円安の影響で海外での加工に支障がある一方、原料価格高騰により養殖銀ザケや寿司種の販売が順調に推移し増収増益
- < すり身 > (26.9%) 南米すり身の生産は順調に推移、一方円安による原料相場高騰などが影響し、練り製品の販売が振るわず増収減益

海洋事業： 増収増益 養殖資材販売と各種メンテナンス需要が回復

(単位：百万円)	2022年3月期2Q	利益率 (%)	2022年3月期2Q	利益率 (%)	増減
売上高	8,791	-	9,891	-	+ 1,100
営業利益	207	2.4	347	3.5	+ 139

- < 養殖部門 > (47.8%) 飼料原料価格の上昇があるなか、成魚の販売が堅調に推移し増収増益
- < 漁網・漁具資材部門 > (45.9%) 近海まき網や定置網用の漁具資材などの受注を重ね、官公庁向けは資源調査等の一部再開による販売増もあり、増収増益
- < 船舶・機械部門 > (6.3%) コロナ禍や漁獲不振から受注量は低調に推移、一方で船舶用機器類・船用品などの販売増により増収増益

主力事業の状況② 機械事業・資材事業

7

機械事業： 増収増益 冷凍食品や総菜加工業界向け設備更新・導入が伸長

(単位：百万円)	2022年3月期	利益率 (%)	2022年3月期2Q	利益率 (%)	増減
売上高	5,073	-	5,428	-	+ 355
営業利益	299	5.9	414	7.6	+ 115

<国内> (77.2%) 冷凍食品業界・総菜加工業界を中心に、設備更新や新規設備の導入が進みましたが、前年ほどの大型案件はなく減収、営業利益は前年同期並み

<海外> (22.8%) 豆腐・惣菜などの各種生産設備の導入意欲は堅調で、コロナ禍で遅延していた豆腐製造ラインなどの据付が完了し増収増益

資材事業： 増収増益 建材シート・包装資材向けが好調

(単位：百万円)	2022年3月期	利益率 (%)	2022年3月期 2 Q	利益率 (%)	増減
売上高	4,240	-	4,412	-	+ 171
営業利益	224	5.3	241	5.5	+ 16

<化成品> (93.3%) 主力の建材用シートなどの原材料価格高騰に対し早期に手当てし、受注は順調に推移。包装資材においても、冷凍食品関連の販売が堅調に推移し増収増益。

<農畜資材> (6.7%) 肥料の価格高騰の影響を受け、肥料の販売が減少も、ビニールハウスなどの販売が堅調に推移し増収増益。

貸借対照表（要約）

- ・ ロシア情勢対応などで水産物在庫を確保したため、商品及び製品が大幅増加
- ・ 設備投資や金利上昇に備えて債務は長期化

	資産の部			負債・純資産の部	
	(単位：百万円) 2022年9月末	前期末増減		(単位：百万円) 2022年9月末	前期末増減
流動資産	66,637	+ 13,620	流動負債	49,847	+ 7,182
現金預金	8,393	+ 2,240	支払手形・買掛金	13,873	+ 495
受取手形・売掛金	18,492	△41	短期債務	31,642	+ 6,987
商品及び製品	31,933	+ 9,675	契約負債	2,466	+ 151
固定資産	22,656	+ 865	固定負債	17,763	+ 5,630
有形固定資産	9,700	+ 425	純資産	21,818	+ 1,752
無形固定資産	745	+ 20	株主資本	18,636	+ 923
投資その他の資産	12,210	+ 420	その他包括利益計	3,153	+ 939
資産合計	89,429	+ 14,565	負債純資産合計	89,429	+ 14,565

- ・ロシア情勢による市況・コスト上昇・取引の不確実性を見込み、水産物の取引拡大、在庫を積み増しを図り、営業キャッシュ・フローがマイナスに
- ・第1回新株予約権発行で、養殖事業、水産物加工設備への投資を積極化
(1.1億円、前期比+1.1億円)

(単位：百万円)	2021/4-2021/9	2022/4-2022/9	増減	主な要因
現金及び 現金同等物の期首残高	9,285	5,571	△3,714	
営業活動によるキャッシュフロー	△8,191	△8,959	△768	売上債権の減少+657 棚卸資産の増加△10,481 仕入債務の増加+392 契約負債の増加+148
投資活動によるキャッシュフロー	△1,631	△613	+1,018	有形・無形固定資産への投資 △1,027
フリーキャッシュフロー	△9,822	△9,572	+250	
財務活動によるキャッシュフロー	7,526	11,595	+4,068	短期借入金の調達+8,326 長期借入金の調達+2,830
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,001	7,711	+710	

 ニチモウ株式会社

2023年3月期業績見通し

期初見通しに比べて、コロナ禍収束でインバウンド需要も含めて好転へ向かうものの、他方、原価や資材・物流コスト高騰、カニの相場下落による在庫評価減や水産加工など成長事業の投資負担が影響し、想定範囲レベルの増収減益へ

ロシア水産物の仕入リスクは一旦収束 一方、米国禁輸によりカニ流通過多で 相場下落

- 年末商戦に向けて在庫評価損を計上
- 一部商品値上げによる販売数量減

原材料価格等の高騰への対応

- 一部商材では販売に転嫁
- 駆け込み需要による反動減

早期にリスクヘッジし減益幅を最小限に

外食・インバウンド需要が想定通り回復すれば、業績面でプラス要素

成長事業における設備投資は予定通り進行

- 2022年6月ヤマイチ水産新工場竣工 設備の償却が開始、減価償却費増

2023年3月期業績見通し（全体）

12

現段階では期初の増収減益見通しを変えず

売上高：1,200億円（前期比+3.9%）、営業利益：26億円（同△18.8%）

売上高：期初の想定通り、円安に伴う輸入水産物価格の高騰等による一部商品の販売価格転嫁、数量は落ち込むものの増収へ

営業利益：①カニの相場下落や原材料価格の高騰による収益性の低下
②養殖事業など将来へ向けた積極的なマーケティングの展開による販管費の増加
③成長事業（水産物加工）の設備投資増加による償却負担増

（単位：百万円）	2022年3月期	構成比 （%）	2023年3月期	構成比 （%）	前年比 （%）
売上高	115,469	100.0	120,000	100.0	+3.9
営業利益	3,201	2.8	2,600	2.2	△18.8
経常利益	3,611	3.1	3,100	2.6	△14.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,754	2.4	2,200	1.8	△20.1

2023年3月期業績見通し（事業別）

- ・通期見通しに変更なし（下期見通しも変更なし）
- ・上期の傾向は大きく変わらず
- ・主力の食品事業は増収見通し（他方、在庫評価減で減益へ）
- ・原材料価格高騰の影響懸念の資材事業と前期ほどの大型案件が見込めない機械事業は減収見通し

(単位：百万円)		2022年 3月期 実績	構成比 (%)	2023年 3月期 見通し	構成比 (%)	増減
全体	売上高	115,469	100	120,000	100	+3.9%
	営業利益	3,201	—	2,600	—	△18.8%
食品	売上高	72,583	62.9	80,000	66.7	+7,416
海洋	売上高	18,414	15.9	18,800	15.7	+385
機械	売上高	12,785	11.1	11,000	9.2	△1,785
資材	売上高	8,749	7.6	7,500	6.2	△1,249
バイオテックス	売上高	371	0.3	400	0.3	+28
物流	売上高	2,456	2.1	2,300	1.9	△156

ニチモウ株式会社

資本政策・株主還元策

中期経営計画の投資方針に基づく事業成長投資を、
自己資本拡充、財務健全性の強化という観点を配慮し実施
プライム市場での流通株式数を安定化させ、積極的に企業価値向上をはかる

割当日

2022年9月12日（月）

行使期間

2022年9月13日（火）～2025年9月30日（火）

資金調達額

1,857百万円（差引手取概算額）

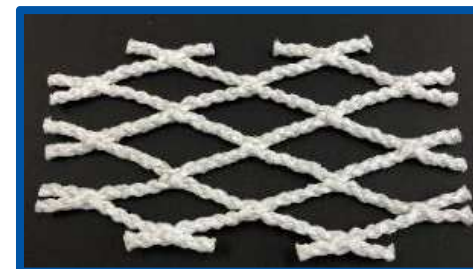
資金使途

①「フィッシュファームみらい」への出資を通じた
陸上養殖設備の建設資金

1,500百万円

②バイオマス漁網の実用化に係る
研究開発資金

357百万円



* 詳細につきましては、「第三者割当による第1回新株予約権発行に関する補足説明資料」（2022年8月26日）
をご参照ください。

中期経営計画投資枠合計100億円

- ①陸上養殖の事業化
（新規事業）：30億円
- ②バイオマス漁網の実用化
（研究開発）：10億円
- ③水産物加工の
安定供給体制を構築
（設備投資）：30億円
- ④M & A 資金
（既存事業強化）：20億円
- ⑤その他
（システム費用）：10億円

新株予約権発行（2022年8月）
調達金額約18億57百万円

- ①陸上養殖建設資金 15億円
- ②バイオマス漁網実用化
研究開発資金 3.6億円

2023年3月期 2 Q時点投資額

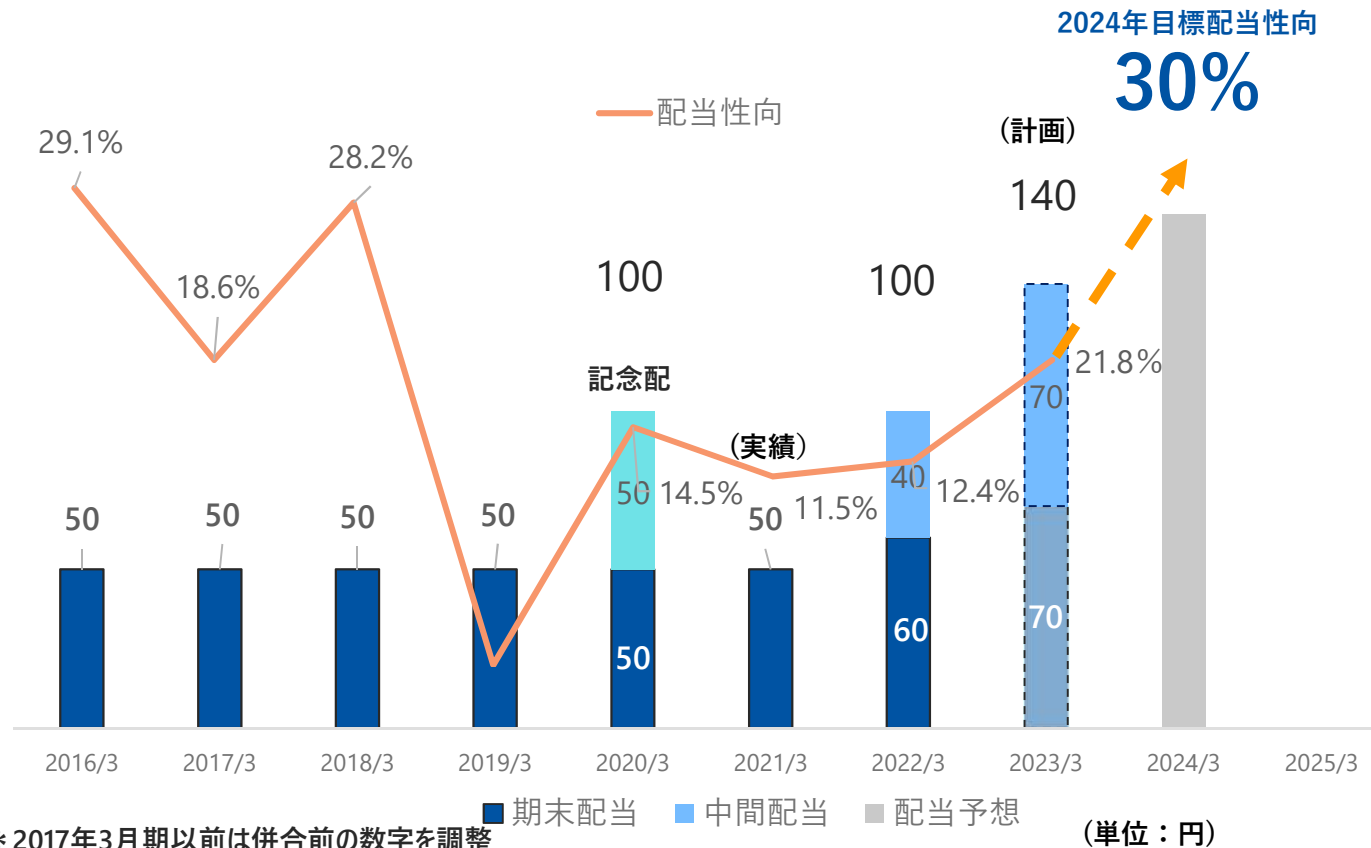
- ①陸上養殖の事業化 3.8億円
⇒2022年末に一次工事完了予定
- ②バイオマス漁網の実用化 0.6億円
⇒廃棄漁網リサイクルの研究開発他
- ③水産物加工の安定供給体制を構築
11.6億円
⇒2022年6月にヤマイチ水産新食品
工場完成（省人省力化・環境に配慮）
- ⑤その他（システム費用）1.3億円
⇒販売管理システム改修他

若干の遅延はあるが、
概ね計画どおりに進行中

配当金：株主還元を積極化、中間配は10円増配の70円へ

収益安定成長化に伴い株主還元策を積極化

- ・2023年3月期2Q業績の堅調推移にともない中計で掲げた段階的な配当性向30%向上策を早期実現
- ・中間配当は1株当たり70円(前回予想+10円)へ
- ・期末配当も同様とし、年間配当は140円(前回予想+20円)を予定



2022年11月21日に「2023年3月期第2四半期決算説明会」を動画配信いたしますのでぜひご視聴ください。

https://www.nichimo.co.jp/ir/library/brief_note/

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。また、本資料の著作権を含む一切の権利はニチモウ株式会社に帰属します。

IRに関するお問い合わせ
ニチモウ株式会社 総務部IR担当
E-mail：ir@nichimo.co.jp
TEL：03-3458-3020

2022年11月